
2010 年度 JSiSE 第 6 回研究会 プログラム

担当 西野和典, 西端律子, 松永公廣 (研究会委員会)

◆テーマ◆ 情報教育の国際化／一般

■開催日 : 2011 年 3 月 19 日(土)

■開催場所: 九州工業大学飯塚キャンパス

(〒820-8502 福岡県飯塚市川津 680-4)

<http://www.iizuka.kyutech.ac.jp/>

■問い合わせ先: 西野和典(九州工業大学) nishino@lai.kyutech.ac.jp

OECD の国際成人力調査 (PIAAC) が 2011 年から開始され, 「IT を活用した問題解決力」が調査の対象になるなど, 国際的にも情報活用能力の育成が課題となっています。このような国際的な動向の中で, 新しい情報教育のカリキュラム, 教育方法の開発, さらに情報教育の実践が求められています。第 6 回研究会では, このような内容の発表とともに情報教育全般や一般に関する発表もごさいます。多くの方々のご参加をお待ちしております。

※下記プログラムは暫定版です。開催までに変更になる場合がございます。

【9:30ー 受付】

【開会のあいさつ 10:00-10:10】

【セッション 6 A 10:10-12:10】

[10:10-10:40]

1. 学習のライフサイクルを支援する史跡学習システムの開発
○藤井 諭, 後田真希, 南葉恵美子 (松江工業高等専門学校)

[10:40-11:10]

2. IT 活用と情報環境
○金山茂雄 (拓殖大学)

[11:10-11:40]

3. コンピュータリテラシー教育と専門教育の接続 第 2 報 - 試行結果と評価 -
○皆川雅章, 石川千温, 渡邊愼哉, 中村永友, 新國三千代 (札幌学院大学)

[11:40-12:10]

4. WorldSkills における情報技術職種について
○中村直人 (千葉工業大学)

【セッション 6 B 10:10-12:10】

[10:10-10:40]

5. マルチエージェントシステムを用いたいじめのシミュレーションモデル
○宮田 健, 山口真之介, 大西淑雅, 佐藤直樹, 西野和典 (九州工業大学)

[10:40-11:10]

6. グループ協調作業や相互評価を取り入れた授業を支援するシステムに求められる機能の検討
○金子大輔 (北星学園大学), 山川広人, 長谷川理, 水上隆博, 小松川浩 (千歳科学技術大学)

[11:10-11:40]

7. 学習コミュニティにおける知識構造の推定と学習支援
○山本美紀, 安間文彦, 岡本敏雄 (電気通信大学大学院)

[11:40-12:10]

8. SNS 型学習支援システムを用いたコミュニティ内知識共有支援
○安間文彦, 岡本敏雄 (電気通信大学大学院)

【共通：昼休み 12:10-13:10】

【セッション6C 13:10-15:10】

[13:10-13:40]

9. 情報処理能力とパーソナル障害の関係
○金山茂雄，小林政尚（拓殖大学）

[13:40-14:10]

10. 手作業によるアルゴリズム教育の実践
○新開純子（富山高等専門学校），宮地 功（岡山理科大学）

[14:10-14:40]

11. 情報工学科学生に対するアルゴリズム的思考法教育手法の改善
○國宗永佳，不破 泰，香山瑞恵，新村正明（信州大学）

[14:40-15:10]

12. 統計データ処理実習における学生の能動的な行動を引き出す会話プログラムの設計
○吉根勝美（南山大学），磯本征雄，長谷川信（岐阜聖徳学園大学）

【セッション6D 13:10-15:10】

[13:10-13:40]

13. eラーニングシステムのテスト問題作成用共通フォーマットと一括変換
○木原 寛，畑 篤，牧野久美（富山大学）

[13:40-14:10]

14. ブレンド型授業の設計支援システムの研究開発
○清水隼人，宮地 功（岡山理科大学）

[14:10-14:40]

15. 大学間連携 e-learning VOD 講義システムの導入
坪内伸夫（京都産業大学），○阿部一晴（京都光華女子大学）

[14:40-15:10]

16. VOD 講義の字幕における重要語の表示と表現の簡単化
○椎名広光（岡山理科大学），小林伸行（山陽学園大学），北川文夫（岡山理科大学）

【共通：休憩 15:10-15:30】

【セッション6E 15:30-17:30】

[15:30-16:00]

17. プレゼンテーション教育でのリフレクションの強化（2）
ープレゼン代行とひとりリハーサルの気づきの差異ー
○村上和繁（大阪電気通信大学），正木幸子（大阪商業大学），松永公廣（摂南大学），
中村民明（tami 情報教育研究所），岡本久仁子（大阪国際大学），岩崎重剛（やる気教育研究所），
石桁正士，横山 宏（大阪電気通信大学）

[16:00-16:30]

18. 大学教育における科目デザイン手法のシステム化
○宇治典貞，横山 宏，魚井宏高（大阪電気通信大学）

[16:30-17:00]

19. ティーチング・ポートフォリオとテキストマイニングの日本語教育への応用
○宇根谷孝子（立命館アジア太平洋大学）

[17:00-17:30]

20. キャリア力養成を目的とした e-Portfolio の設計
○小林政尚（拓殖大学）

【セッション 6 F 15:30-17:30】

[15:30-16:00]

21. 高解像度静止画切り出し機能を有する遠隔講義システムの評価
○宮入俊太郎, 國宗永佳, 新村正明, 不破 泰 (信州大学)

[16:00-16:30]

22. 視線一致型TV会議システムを用いた遠隔ディベートについて
○清水紀俊, 田中翔太良 (早稲田大学), 谷田貝雅典 (岡崎女子短期大学), 永岡慶三 (早稲田大学)

[16:30-17:00]

23. 書く過程の提示が可能なプレゼンテーションツールの開発
○細木秋裕, 田中久治, 渡辺健次, 岡崎泰久 (佐賀大学)

[17:00-17:30]

24. 手書きインタフェースを用いたノート指導システムの開発
○中村俊介, 田中久治, 渡辺健次, 岡崎泰久 (佐賀大学)

【懇親会 18:30～】

特集論文研究会と第6回研究会合同で先着20名程度

「やじろべえ」 新飯塚駅近く (送迎バスあり)

参加費: 5000 円/人

電話: 0948-21-0333,

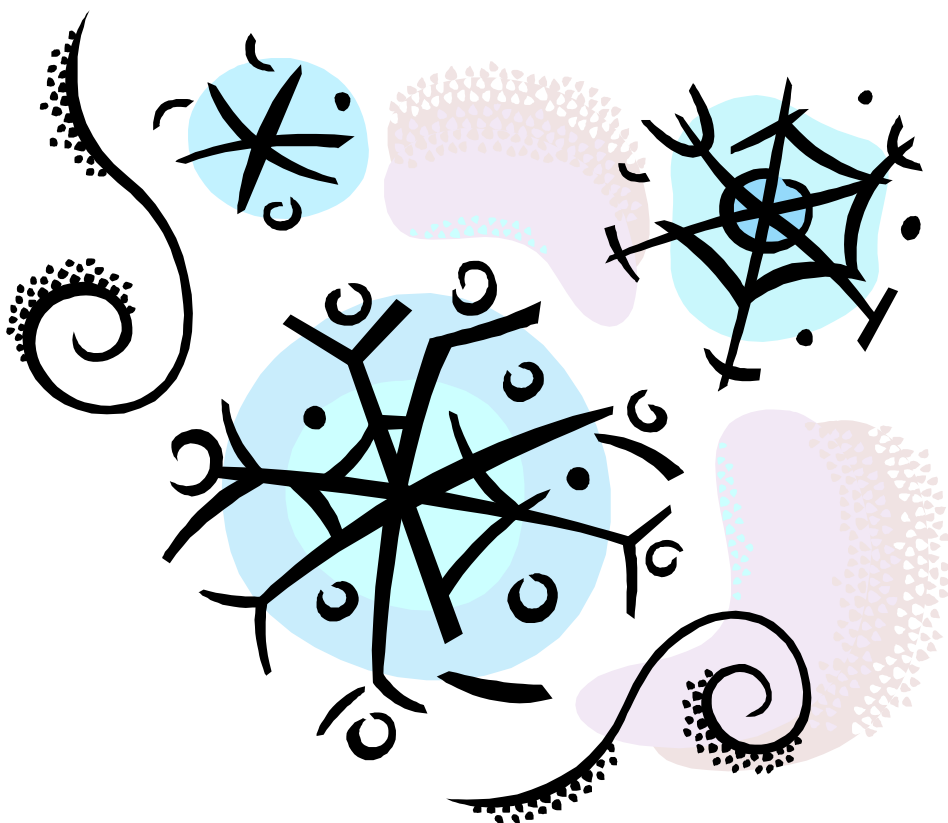
<http://www.yajirobe-555.com/>

*参加ご希望の方は,

E-MAIL: nishino@lai.kyutech.ac.jp 宛に、

件名: 懇親会参加、本文: お名前とご所属

の電子メールをお送りください。折り返しこちらから返信致します。



2010 年度 JSiSE 特集論文研究会 プログラム

担当 林 雄介 (学会誌編集委員会),
小西達裕 (研究会委員会・学会誌編集委員会)
西野和典 (研究会委員会・学会誌編集委員会)

◆テーマ◆ 実用的 e ラーニング環境の構築と運用

■開催日 : 2011 年 3 月 19 日(土)

■開催場所: 九州工業大学飯塚キャンパス

(〒820-8502 福岡県飯塚市川津 680-4)

<http://www.iizuka.kyutech.ac.jp/>

■問い合わせ先: 林 雄介(名古屋大学) hay@icts.nagoya-u.ac.jp

本研究会は「実用的eラーニング環境の構築と運用」をテーマにした特集論文(2011 年 1 月
発刊号)に向けた特集研究会です。発表時間は、コメント希望発表が 1 件につき 40 分(発表
20 分、質疑応答・コメント 20 分)、一般発表が 1 件につき 25 分(発表 20 分、質疑応答 5 分)
です。

本研究会では研究会委員と編集委員会委員が分担して、ご提出いただきました研究会原稿
を読ませていただき、発表時に論文執筆に役に立つコメントを提供させていただきます。こ
のコメントを参考にさせていただき、特集論文にご投稿いただきたいと思います。多く
の方々のご参加をお待ちしております。

※下記プログラムは暫定版です。開催までに変更になる場合がございます。

【9:30～ 受付】

【10:00-10:10 挨拶】

【セッションTA 10:10-12:10】

[10:10-10:50]

25. 国家試験対策 e-ラーニングシステム

○知念正剛 (福岡医療短期大学)、金崎信夫 (福岡歯科大学)

[10:50-11:30]

26. ゲームニクスによる革新的 LMS インターフェースの開発

○井ノ上憲司 (長崎大学)、鈴木克明 (熊本大学)

[11:30-12:10]

27. 異なる簡易 VR 学習環境下での学習効果の差異に関する研究

○鈴木貴大、鈴木崇弘、千葉紗由季、松永信介、稲葉竹俊 (東京工科大学)

【セッションTB 10:10-12:10】

[10:10-10:50]

28. スパイラルカリキュラムによるソフトウェア工学 e-learning 教材の開発

○山崎進 (北九州市立大学)

[10:50-11:30]

29. コースポートフォリオの作成および活用を目的とした教育支援システムの開発

○古賀掲維、藤井美知子、丹羽 量久 (長崎大学)

[11:30-12:10]

30. 学習状況把握を考慮した Excel マクロによる学習システムの構築

○竹上 健 (高崎商科大学)

【セッションTC 10:10-12:10】

[10:10-10:50]

31. VOD 型 e ラーニングの実践環境の構築

○古賀崇朗、藤井俊子、中村隆敏、角 和博、高崎光浩、大谷 誠、江原由裕、梅崎卓哉、米満 潔、久家淳子、時井由花、河道 威、本田一郎、原口聡史、永溪晃二、田代雅美、穂屋下茂（佐賀大学）

[10:50-11:30]

32. 大学コンソーシアムでの同期型遠隔授業の環境構築と実践

○高崎光浩、米満 潔、古賀崇朗、永溪晃二、穂屋下茂（佐賀大学）

[11:30-12:10]

33. 大学間での共通基盤としての利用を想定した e ラーニング教材配信の実践

○杉山秀則（放送大学）、小松川浩（千歳科学技術大学）、仲林 清（千葉工業大学）

【共通：昼休み 12:10-13:10】

【セッションTD 13:10-15:10】

[13:10-13:50]

34. 保育者養成における「遊誘財データベース」の活用

○藤原伸彦、田村隆宏、木下光二（鳴門教育大学）

[13:50-14:30]

35. 初等中等教育における e ラーニング活用教育モデルの構築と検証

○長谷川理、大井 岳、大西智彦、渡部峰生、今井順一、小松川浩（千歳科学技術大学）

[14:30-15:10]

36. e-learning を活用した児童用指文字学習環境の開発と評価

○楠 房子（多摩美術大学）、稲垣成哲（神戸大学）、生田目美紀（筑波技術大学）、杉山はるか（神戸市立本庄小学校）、黒田秀子（神戸大学附属小学校）、寺野隆雄（東京工業大学）

【セッションTE 13:10-15:10】

[13:10-13:50]

37. 日本語教育における e ラーニング利用の現状と課題

○吉田麻子、市原明日香、井出晃憲、鈴木修子、今井新悟（筑波大学・文部科学省）

[13:50-14:30]

38. 第二外国語としての中国語学習のためのブレンディッドラーニングの開発

○趙 秀敏（東北大学）、今野文子（東北大学・メルボルン大学）、朱 嘉琪（東北大学）、稲垣 忠（東北学院大学）、大河雄一（東北大学）、三石 大（東北大学）

[14:30-15:10]

39. 中学生向け合唱練習用ラーニングシステムの開発

○本田雅治、古谷 将、松永信介、稲葉竹俊（東京工科大学）

【セッションTF 13:10-15:10】

[13:10-13:50]

40. 複数機関での利用を想定した e ラーニング環境の構築と運用支援体制について

○水元明法（大学コンソーシアム石川 e 教育支援センター）

[13:50-14:30]

41. 教育機関における利用活性化のためのフォーマル情報提供を支援する

SNS システムの開発とその運用について

○山内弘一（松山大学）、不破 泰（信州大学）

[14:30-15:10]

42. 理工系学部の学習体系を踏まえた全学的な ICT 活用モデルの構築と運用評価

○山川広人、長谷川理、丹野清志、小澤祐也、立野 仁、小松川浩（千歳科学技術大学）

【共通：休憩 15:10-15:30】

【セッションTG 15:30-17:15】

[15:30-16:10]

43. 論述力支援を指向した Blended Learning 環境のデザインとフィードバック効果の検討
○奥田麻衣、平嶋 宗（広島大学）

[16:10-16:50]

44. 内部質保証に向けた学生 TA と同僚教員によるピアレビューの実践
○加藤由香里（東京農工大学）

[16:50-17:15]

45. 気付きを誘発するポートフォリオ情報視覚化機能の Moodle プラグイン実装
○中河祐貴、玉野健一、橋本喜代太、瀬田和久（大阪府立大学）

【セッションTH 15:30-17:25】

[15:30-16:10]

46. 顔画像認識を利用した学習履歴提示システムの構築
○正司哲朗（奈良大学社会学部）

[16:10-16:35]

47. 神戸製鋼 Gr における、全社員を対象とした業務知識教育での e ラーニング適用
○福村修士、宗陽一郎（(株)神戸製鋼所）

[16:35-17:00]

48. 製造現場における技能継承活動支援のための e ラーニング活用事例
江部宏典、宗陽一郎、前田昌宏、宮長貞行、宮原 一（(株)神戸製鋼所）

[17:00-17:25]

49. 11 年の実績、1、000 万人受講の SaaS 型 LMS 「NLP」
○岸田 徹（(株)ネットラーニング）、中村久哉（(株)ネットラーニングホールディングス）

【セッションTI 15:30-17:25】

[15:30-16:10]

50. Moodle における教授者用の課題分析図作成ツールの開発
○高橋暁子、喜多敏博、中野裕司、鈴木克明（熊本大学）

[16:10-16:35]

51. 大学間連携 e-learning システムの開発と運用
○阿部一晴（京都光華女子大学）、森川知史（京都文教短期大学）、小波秀雄（京都女子大学）、都築英明（明治国際医療大学）、坪内伸夫（京都産業大学）

[16:35-17:00]

52. クラウドサービスを利用した e ラーニングシステムの構築に関する一考察
○佐藤 豊（サレジオ工業高等専門学校）

[17:00-17:25]

53. 遠隔補習支援システムを利用した「寄り添い教育」を目指す実践と評価
○松内尚久、西内悠祐、芝 治也、山口 巧（高知工業高等専門学校）、妻鳥貴彦（高知工科大学）

【懇親会 18:30～】

特集研究会と第 6 回研究会合同で先着 20 名程度
「やじろべえ」 新飯塚駅近く（送迎バスあり）
参加費：5000 円／人
電話：0948-21-0333,
<http://www.yajirobe-555.com/>

*参加ご希望の方は、

E-MAIL : nishino@lai.kyutech.ac.jp 宛に、

件名：懇親会参加、本文：お名前とご所属

の電子メールをお送りください。折り返しこちらから返信致します。

論文特集

実用的 e ラーニング環境の構築と運用

当学会では e ラーニングを「教育・学習に ICT(Information Communication Technology)を用いて、その効率や効果を高めるものとして広くとらえております。今までにも、国内外において e ラーニングのシステム、特に LMS(Learning Management System)に関する研究・開発・実践についての報告は多くなされてきました。中でも e ラーニングの優れた実践に関しては、関連学会のみならず、現代的教育ニーズ取組プログラム(現代 GP)、特色ある大学教育支援プログラム(特色 GP)において、教育機関での成果が多く報告がなされているのと同時に、様々な企業においてシステム開発や社内教育での運用実績が積み重ねられています。このように、多くのシステムが開発され、多くの優れた実践が報告されているにもかかわらず、国際的には日本の e ラーニングの普及率は極めて低い状態にあるとの評価を受けているようです。これは、これらの優れた研究や実践の成果が広く共有されていないことが大きな理由として考えられます。そこで当学会では、大学などの高等教育機関に限らず、初等中等教育機関または企業での e ラーニングの運用や、実施体制などをも含む優れた実践を共有し、我が国の e ラーニングの効果的な導入・利用を促進することを目的として、本論文誌 27 巻 1 号の「e ラーニング環境のデザインと実践運用」特集に引き続き、実用的な e ラーニング環境のデザイン、実践・運用に関する特集号を企画いたしました。奮って、ご投稿をお願いいたします。

1. 対象分野

本特集の特徴は、e ラーニングに関係するシステムの開発やそれらの利用・評価にとどまらず、以下のような e ラーニングを導入するにあたって必要不可欠な課題やポイントを網羅するようなトピックスに関する論文を歓迎する点にあります。e ラーニングを効果的に実施するための環境の整備、デザイン、運用モデル、実施体制(規約等の整備を含む)、実践・評価、コンテンツの開発方法、コンテンツの開発体制、e ラーニングの質保証、e ラーニングによる能力保証、国際標準化対応のための方策、学習の動機付け、ファシリテーションなど。無論、これらに限定するものではありません。また対象領域としては、高等教育、初等中等教育に限定せず、企業内教育等の産業界での応用、生涯学習、人材育成分野からの投稿も歓迎いたします。

2. 論文種別

通常と同様、すべての種別の論文を募集します。なお、査読結果により、異なる種別での採録となる場合もあります。また、編集委員会の判断で、一般投稿論文として扱うことになる場合もあります。あらかじめご了承ください。

3. 投稿要領

一般の論文投稿規定に準じます。以下、web 投稿の際の注意点です。

■全ての方へ

「投稿種別」で「特集号」を必ず選択してください。

■特集研究会「実用的 e ラーニング環境の構築と運用」で発表を行った方へ

投稿情報入力の際に「事務局への連絡事項」の欄に、研究会での題目と発表番号を記載して下さい。

4. スケジュール

投稿原稿締め切り：2011 年 4 月 27 日（水）（特集号研究会から約 1 ヶ月後です）

掲載予定：2012 年 1 月 1 日発行予定の学会誌

5. 問い合わせ

- ・学会誌編集委員会特集号幹事 林 雄介
e-mail : hay@icts.nagoya-u.ac.jp

- ・Web 投稿に関する問合せ先 教育システム情報学会編集事務局
〒169-0075 東京都新宿区高田馬場 4-4-19 株式会社国際文献印刷社
電話：03(5389)6492 e-Mail : jsise-edit@bunken.co.jp

教育システム情報学会 英文誌論文募集

(Vol.10, No.1, 2012 年 2 月発行予定)

教育システム情報学会では、2002 年度から年 1 回定期的に英文誌を発行しています。これまでに発行してきました英文誌は、質・量ともに「教育とコミュニケーション技術」に関する世界レベルの内容となりました。このたび、Vol.10 に掲載する論文を募集いたします。是非、多くの方々にご投稿いただき、革新的な研究成果、ユニークな実践等を世界に向けて積極的に発信していただきたいと思ひます。

下記の要領に沿って、ご投稿いただきますよう、お願いいたします。

●論文種別●

原著論文(Original Paper), 実践論文(Practical Paper),
ショートノート(Short Note), 実践速報(Report on Practice)

●投稿締切● ※2 回に分けて論文を受け付けます！

第 1 回締切： 2011 年 3 月 18 日

第 2 回締切： 2011 年 6 月 4 日

※学位申請等のため査読判定結果を早めに受け取りたい方は、第 1 回締切までの投稿をお勧めします。

第 2 回締切までにご投稿いただいたものに関しては、Vol.10, No.1 (2012 年 2 月発刊予定) への掲載対象となります。

●投稿要件●

- ・ 論文は他学会において査読中でないこと、そして、その主要部分が未発表であること。ただし、国際会議、学会の大会、研究会等で口頭発表した内容をまとめたものは投稿することができます。
- ・ 寄稿者は本会会員である必要はありませんが、本会会員である場合には投稿料に会員の価格が適用されます。寄稿者が 2 名以上の連名の場合は、そのうち少なくとも 1 名が会員であれば、投稿料に会員価格が適用されます。

●原稿執筆要領●

英文論文誌もしくは下記の URL を参照してください。

http://www.jsise.org/e_journal/ejournal.html

●投稿方法● ※電子投稿システムを利用して投稿を行ってください

- ・ 下記 URL より電子投稿用 Web ページにアクセスしてください。

https://www.wdc-jp.biz/jsise/journal_e/applicant/login.html

- ・ 初めて電子投稿システムを利用する場合は、まず利用者用 ID の発行手続きを行ってください。
- ・ 投稿論文は印刷イメージに近い書式で PDF ファイルとして作成し、アップロードしてください。

●問い合わせ先● ※メールにてお問い合わせ下さい

教育システム情報学会編集事務局

株式会社国際文献印刷社内

教育システム情報学会 編集事務局 担当：長澤

住 所：〒169-0075 東京都新宿区高田馬場 4-4-19

電 話：03 (5389) 6492 FAX：03 (3368) 2827

メールアドレス：jsise-edit@bunken.co.jp

◆テーマ◆「新技術の開発と活用による新しい教育・学習環境／一般」

2011 年 1 月 29 日（土）に、「新技術の開発と活用による新しい教育・学習環境／一般」をテーマに、八王子学園都市センターを会場として 2010 年度第 5 回研究会を開催し、計 11 件の発表とともに、会員 27 名、非会員 18 名の計 43 名の参加がありました。

今回の研究会では、HTML5 や AR、スマートフォン、タブレット端末、さらには各種センサデバイスの活用や音声認識技術等、ハードウェア、ソフトウェアの双方において、最先端の技術を教育に活用する取り組みや、そのための新規技術の開発に関する研究が報告されるとともに、各研究の発表時には、発表者と聴衆者との間で活発な議論が交わされるなど、大変盛況で、有意義な研究会となりました。

また今回の研究会は都内での開催となりましたが、関東近郊だけでなく、全国各地の大学、高専等からも多数の参加があり、本学会の活動を外部に PR する効果も多分にあったものと思われます。

最後に、ご発表を頂いた皆様、熱心なご議論に参加頂いた方々、ならびに研究会の PR 等々本研究会を支えて頂きましたご関係各位に、この場を借りて御礼申し上げます。

■ 開催日：2011 年 1 月 29 日（土）

■ 会 場：八王子学園都市センター

■ プログラム

□ 開会挨拶：10:30～10:35 挨拶：佐々木 整(拓殖大学)

□ セッション 1：10:35～11:50 座長：鷹野 孝典(神奈川工科大学)

1. 携帯端末を活用した俳句創作環境の構築

○高田 伸彦(金沢学院大学), 鈴木 雅実(KDDI 研究所), 柳澤 良一(金沢学院大学)

2. アンケート集計システムにおいて入力インターフェースにタブレット端末を用いる時の問題と対策

- アンケート用紙と比較して -

○戸田 健, 陳 保旻, 尾崎 信耶(日本大学),

井手口 直子, 高木 彰子, 黒田 理恵, 外山 真央, 子野 日文(帝京平成大学)

3. HTML5 を用いた双方向性電子黒板システムの実装と実践

○郡司 貴之(湘南工科大学)

□ セッション 2：13:30～15:10 座長：三好 康夫(高知大学)

4. 2 大学間における視線一致型 TV 会議システムを利用した遠隔交流学習

○谷田貝 雅典(岡崎女子短期大学, 名古屋大学), 永岡 慶三, 坂井 滋和(早稲田大学), 安田 孝美(名古屋大学)

5. 音声情報を用いたシーン選択視聴支援システムの設計と開発

○菊地 沙紀, 大河 雄一, 三石 大(東北大学), 本郷 哲(仙台高等専門学校)

6. AR 技術を利用した環境教育教材提供の可能性について

○栗木 直也, 鶴川 義弘, 齋藤 有季(宮城教育大学)

7. 拡張現実技術を用いたインタラクティブな学習教材の検討

○小倉 利文, 杉浦 龍也, 鷹野 孝典(神奈川工科大学)

□ セッション 3：15:30～17:10 座長：大河 雄一(東北大学)

8. ソーシャルブックマークを用いた探求学習のための学習目標アウェアネス

○田所 亮, 三好 康夫(高知大学), 金西 計英(徳島大学)

9. 集団用反射神経訓練教材における訓練支援用操作モジュールの開発

○千田 和範, 野口 孝文, 稲守 栄(釧路工業高等専門学校)

10. ストーリー型 Web マンガ教材の開発とその評価

○松本 多恵(奈良女子大学)

11. 教育内容の局所的構造化と課題自動生成の試み

○石川 高行, 矢島 彰, 岡本 容典(大阪国際大学)

□ 閉会挨拶：17:10～17:15 挨拶：三石 大(東北大学)

国際会議のご案内

国際会議のご案内は、教育システム情報学会の会員のみなさんからの紹介や、インターネット上で流れている CFP 情報をもとに編集されています。会員のみなさんに紹介したい国際会議などがありましたら、ご連絡ください。

また、実際に国際会議に参加されたレポートなどを送っていただければ今後の国際会議の案内作成の際に大変参考になりますので、そちらのほうもお待ちしております。

新着情報：3 件

☞T4E 2011: IEEE International Conference on Technology for Education

- 開催期間：July 14-16, 2011
- 開催地：Chennai, India
- URL: <http://www.tfore.iitm.ac.in>
- 論文投稿スケジュール：Submission deadline: Feb 27, 2011

☞mlearn2011: 10th World Conference on Mobile and Contextual Learning

- 開催期間：October 18-21, 2011
- 開催地：Beijing, China
- URL: <http://mlearn.bnu.edu.cn/>
- 論文投稿スケジュール：Full Paper Submissions: May 5, 2011

☞ICCE 2011: The 19th International Conference on Computers in Education

- 開催期間：November 28 to December 2, 2011
- 開催地：Chiang Mai, Thailand
- URL: <http://www.nectec.or.th/icce2011/>
- 論文投稿スケジュール：Full/Short/Poster papers submission: May 13, 2011

再掲情報：4 件

☞Edutainment 2011: The 6th International Conference on E-learning and Games

- 開催期間：September 7-9, 2011
- 開催地：Taipei, Taiwan
- URL: <http://elearning.teldap.tw/edutainment2011>
- 論文投稿スケジュール：Due date of paper submission: April 1, 2011

☞ED-MEDIA 2011:

World Conference on Educational Multimedia, Hypermedia & Telecommunications

- 開催期間：June 27 - July 1, 2011
- 開催地：Lisbon, Portugal
- URL: <http://aace.org/conf/edmedia/>
- 論文投稿スケジュール：Call for Presentations: Due April 12, 2011

☞E-LEARN 2011:

World Conference on E-Learning in Corporate, Government, Healthcare & Higher Education

●開催期間 : October 17-21, 2011

●開催地 : Honolulu, Hawaii

●URL: <http://aace.org/conf/elearn/>

●論文投稿スケジュール : Call for Presentations: Due April 22, 2011

☞APTEL 2011: Asia-Pacific Conference on Technology Enhanced Learning 2011

●開催期間 : August 12-14, 2011

●開催地 : Xi'an, China

●URL: <http://elearning.teldap.tw/aptel2011/>

●論文投稿スケジュール : Paper Submission Deadline: May 1, 2011



■□■□■□■2011 年度 研究会開催予定■□■□■□■

日 時	テ ー マ	会 場	担 当
第 1 回研究会 2011 年 5 月 27 日(金) ※発表件数が多い場合、 <u>5/27(金)～28(土)</u>	医療・福祉・看護の ICT	放送大学（幕張）	仲林，石打， 松居，北村
第 2 回研究会 2011 年 7 月 9 日(土)	ICT を活用した学習支援と教育の質保証 ／一般	千歳科学技術大学	不破，小松川， 野崎，布施
第 3 回研究会 2011 年 9 月 3 日(土)	教育機関等連携を支援する教育システム の設計・構築・運用／一般	香川大学	林，伊 東， 小西
第 4 回研究会 2011 年 11 月 12 日(土)	協調的学習とその支援技術	名古屋大学	平嶋，柏原， 小尻，曾我
第 5 回研究会 未定	ネットワークコンピューティングと これからの教育・学習環境	未定	佐々木，永森， 三石
第 6 回研究会 2012 年 3 月 17 日(土)	情報教育と社会人基礎力／一般	摂南大学	松永，西野， 西端

◆◇ 研究報告バックナンバーのお求めは ◇◇

研究報告のバックナンバーを購入ご希望の方は、(株)毎日学術フォーラムまで
お申し込みください。1部1,300 円（送料共）です。

株式会社 毎日学術フォーラム

〒100-0003 東京都千代田区一ツ橋1-1-1 パレスサイドビル2階

TEL : 03-6267-4550 FAX : 03-6267-4555

Mail : maf-sales@mycom.co.jp

URL : <http://maf.mycom.co.jp>

■なお、JSiSE 会員の方で「研究報告」の年間購読をご希望の方は、事務局までご連絡ください。この機会にぜひ年間購読されますようおすすめいたします。

■年間購読料 4,000円／年6回発行＜送料込＞

2011 年度 JSiSE 第 36 回 全国大会のご案内

※大会HPが開設されました※

<http://www.lake.info.hiroshima-cu.ac.jp/jsise2011/>

■日 程：

2011 年 8 月 31 日（水）・9 月 1 日（木）・9 月 2 日（金）

■開催場所：

広島市立大学

〒731-3194 広島市安佐南区大塚東 3-4-1

■お問い合わせ先：

教育システム情報学会

第 36 回全国大会実行委員会 事務局

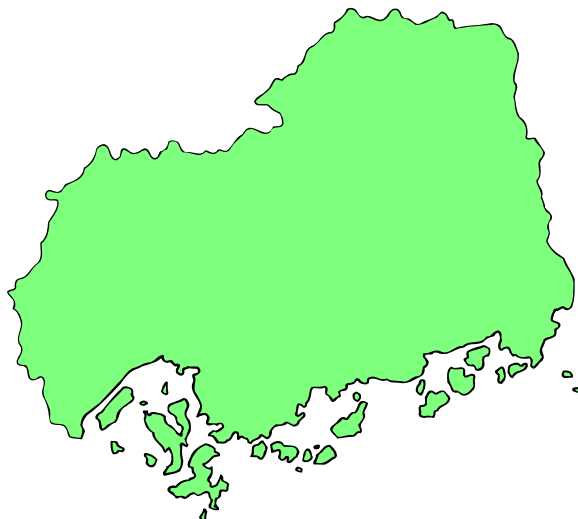
〒731-3194 広島市安佐南区大塚東 3-4-1

広島市立大学 情報科学研究科 知能工学専攻 松原研究室内

E-mail: jsise2011@lake.info.hiroshima-cu.ac.jp

第 36 回全国大会が、上記の日程・会場にて開催されます。
多くの皆様のご参加をお待ちしております。

※大会の詳細につきましては、
随時ご案内させていただきます



新入会員の紹介

下記の皆様方が、新しくご入会されました。(敬称略)

●新入会正会員・準会員

会員番号	名前	所属機関	紹介者	会員種別
JSiSE-A1003039	佐藤徹哉	神戸高等専門学校		正会員
JSiSE-A1003040	内田眞司	奈良工業高等専門学校		正会員
JSiSE-A1003041	濱口なぎさ	学) 鶴鳴学園 長崎女子短期大学		正会員
JSiSE-A1003042	野田啓子	学校法人 立命館		正会員
JSiSE-A1003043	中条貴夫	学校法人 追手門学院大学		正会員
JSiSE-A1003044	西谷まり	一橋大学		正会員
JSiSE-A1003045	水元明法	大学コンソーシアム石川		正会員
JSiSE-A1003046	倉澤勝美	長野県工科短期大学校	不破 泰	正会員
				正会員 8

★★年会費納付のお願い★★

本年度年会費のお支払い期限は、2010 年 8 月末となっておりますので、2010 年度以前の会費の未納につきましては、至急お支払いいただきますようお願い致します。未納が続きますと、学会発送物をお止めさせて頂くことがございます。

ご不明な点等ございましたら、事務局までメールにてお問い合わせ下さい。

JSiSE 事務局 E-mail : secretariat@jsise.org

※ご登録いただいております情報に変更がございましたら、事務局までご連絡ください。

ご連絡が無い場合、学会発送物がお届けできない場合がございます。

◎振込先◎

■銀行名：ゆうちょ銀行
 ■支店名：019 店
 ■当座預金：0709632 ※郵貯間 00180-6-709632
 ■口座名義：教育システム情報学会

■銀行名：池田泉州銀行
 ■支店名：上新庄支店 (222)
 ■普通預金：13440
 ■口座名義：教育システム情報学会 家本 修

◎年会費のご案内◎

■正会員：7,000 円
 ■準会員：4,000 円
 ■企業・団体会員：50,000 円
 ■研究報告年間購読：4,000 円
 ■入会金：1,000 円 (初年度のみ)

次年度(2011 年度)の年会費のご請求に関しましては、4 月初旬頃の郵送となります。
 それまでに、請求書が必要な方は、事務局までメールにてご連絡下さい。

新 入 会 員 募 集

教育システム情報学会は、教育分野における情報通信技術の利用に関する学術研究・調査および情報交換を支援し、教育への情報通信技術の利用を普及させることをその目的としています。

定期的に関行される研究会・セミナーなどに、研究成果を発表できることや、そのほか、定期刊行物の論文誌やニューズレター、研究報告書などがお手許に届きます。

教育分野における情報通信技術の利用に関する学術研究に興味のあるお知り合いの方がおられましたら、是非ご紹介をいただきますようお願い申し上げます。

■お申込み方法■

入会をご希望の方は、入会申込書は学会WEBページに掲載しておりますので(PDFファイル)ダウンロードしていただき、必要事項をご記入の上、学会事務局にご郵送または、FAXにてお送りいただきますようお願いいたします。

手続きをいたしますので、後日、事務局から入会金や年会費のお支払い方法などの詳しい資料を送付します。

■学会事務局宛■

〒533-0005

大阪市東淀川区瑞光3丁目3-25 パティオ白川 101

教育システム情報学会事務局 宛

TEL 06-6324-7767 FAX 06-6324-7767

E-mail: secretariat@jsise.org

<http://www.jsise.org/>

